

TOTO

開閉ユニット

THF53-2型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1. 安全上の注意

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



注意
この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷ままたは物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。
左図は、「分解禁止」を示します。



ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。
左図は、「必ず実行」を示します。

注意



分解禁止
開閉ユニットは絶対に分解しない
特殊組立をしておりますので破損します。

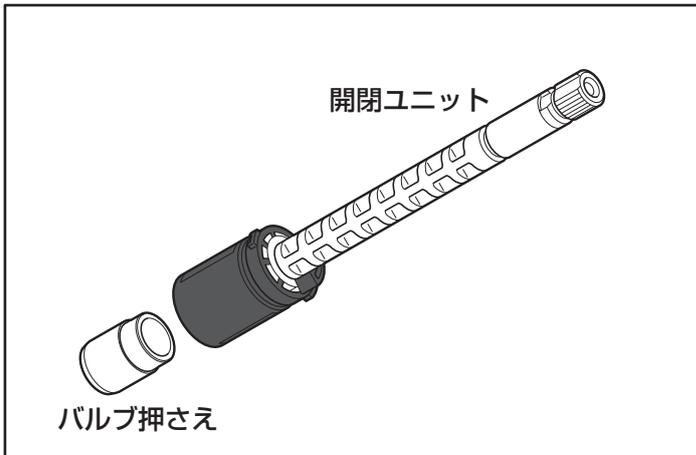


必ず実行
開閉ユニットを取り外す際は必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う
湯水が噴き出して、やけどや家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



2. 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



3. 分解図

製造年月日は に貼っているラベルをご確認ください。

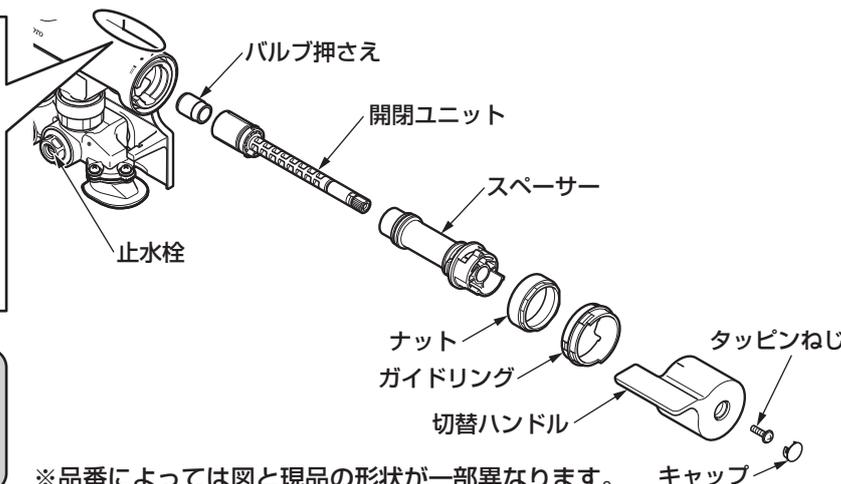
品番
製造番号

製造年月日 <例> 2 3 4 2 5
年 月 日

※9月以降は、X:10月 Y:11月 Z:12月です。

注意

製造年月日が2023年4月25日以降の商品はバルブ押さえを使用しないため、破棄してください。

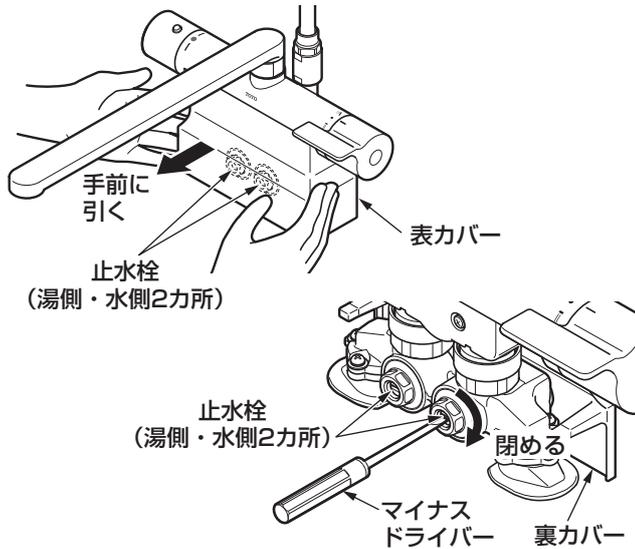


※品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

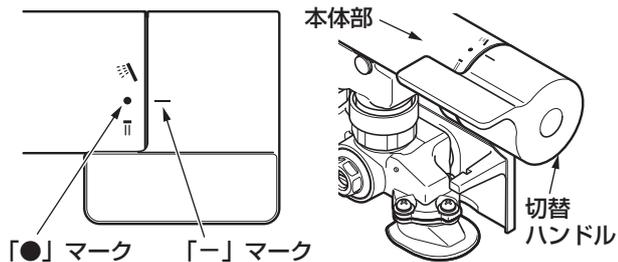
4-1. 取替方法

1 旧ユニットの取り外し

① 止水栓（湯側・水側）または元栓を確実に閉める。



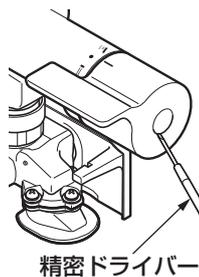
② 切替ハンドルを「止」の位置にする。
本体部の「●」と切替ハンドル部の「-」が合うようにしてください。



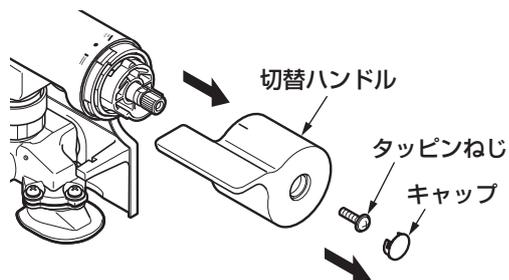
③ キャップ・タッピンねじを外して切替ハンドルを抜き取る。

注意

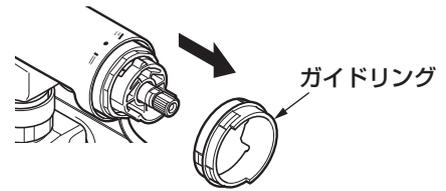
キャップは精密ドライバーなどの先の細いものを使用し、めっき表面を傷つけないように注意しながら外してください。



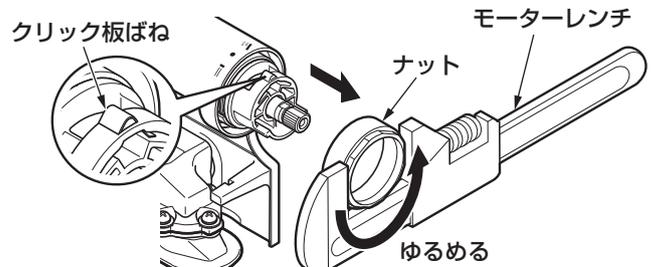
切替ハンドルが回らないように注意してキャップ・タッピンねじを外して切替ハンドルを抜き取ってください。



④ ガイドリングを取り外す。



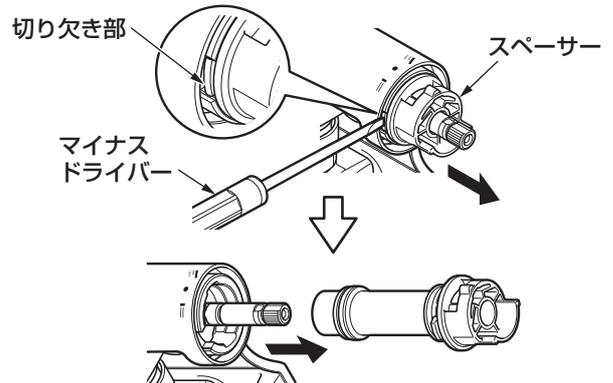
⑤ ナットを取り外す。



注意

- ナットを外すときは、クリック板ばねに当たらないようにナットを外してください。
- クリック板ばねは外さないでください。

⑥ 切り欠き部にマイナスドライバーを差し込み、スペーサーを浮かせて取り外す。



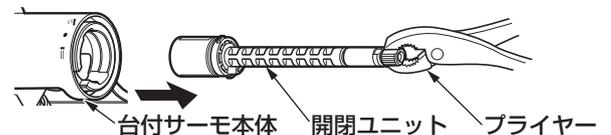
⑦ 開閉ユニットをプライヤーなどで引っ張り、取り外す。

バルブ押さえがある場合



取り出したバルブ押さえを破棄の上、
3-1 新ユニットの取り付けへ進んでください。
(同梱のバルブ押さえ使用)

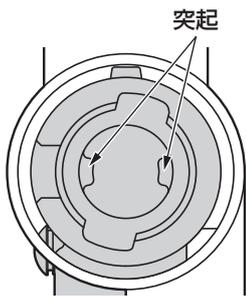
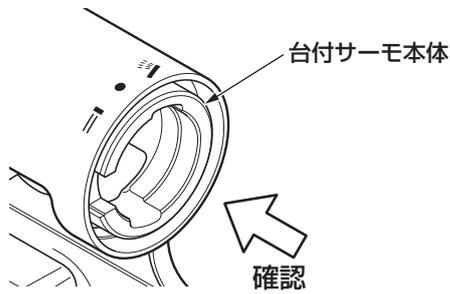
バルブ押さえがない場合



2 本体内部の確認へ進んでください。

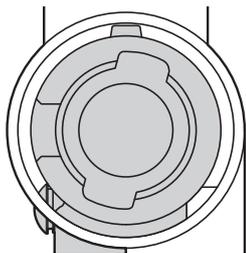
2 本体内部の確認

①台付サーモ本体内部を確認してください。



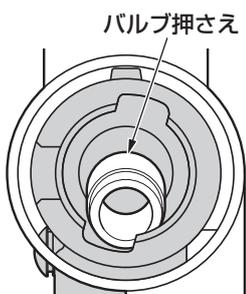
A：突起がある場合

同梱のバルブ押さえを破棄の上、**3-1** 新ユニットの取り付けへ進んでください。
(バルブ押さえは不要)



B：突起がなく、バルブ押さえもない場合

3-1 新ユニットの取り付けへ進んでください。
(同梱のバルブ押さえ使用)



C：バルブ押さえがある場合

②へ進んでください。
(同梱のバルブ押さえ使用)

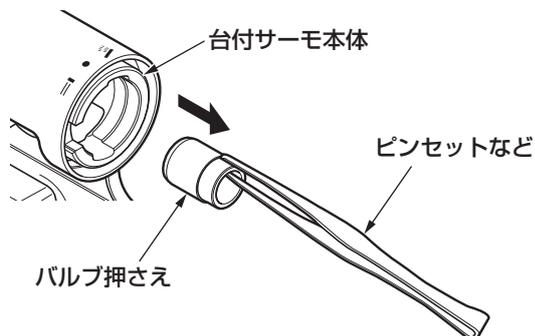
②ピンセットなどで台付サーモ本体内部を傷つけない

ようにバルブ押さえを取り出してください。

取り出したバルブ押さえを破棄の上、

3-1 新ユニットの取り付けへ進んでください。

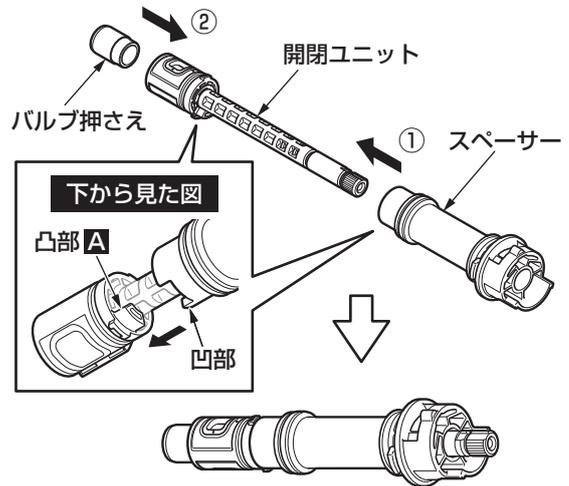
(同梱のバルブ押さえ使用)



3-1 新ユニットの取り付け

①開閉ユニット凸部**A**とスペーサーの凹部をあわせて挿入する。

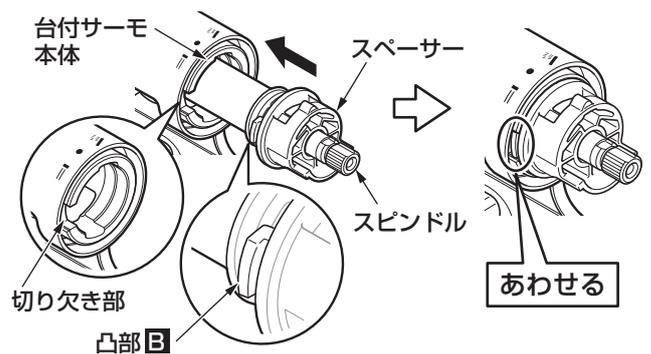
②バルブ押さえを開閉ユニットに挿入する。



注意

バルブ押さえは開閉ユニットを傾けると落下するおそれがあるため、紛失しないようにご注意ください。

③スペーサーの凸部**B**を台付サーモ本体の切り欠き部にあわせて挿入する。



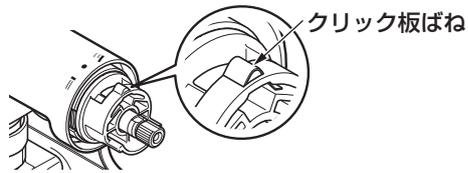
注意

●スペーサーと開閉ユニットが離れないように、スピンドルをつまんでスペーサーを押して確実に組み込んでください。

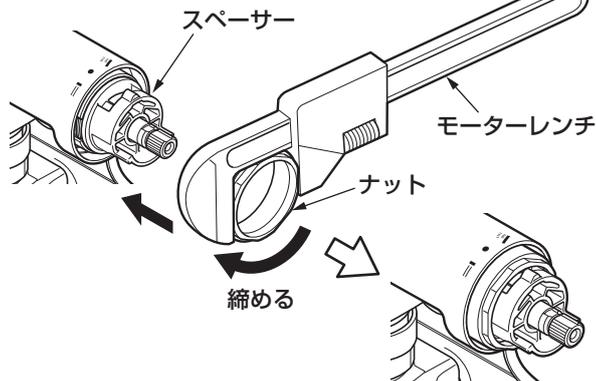
●切り欠き部と凸部**B**がきちんとかみ合わない場合は、本体内部に「突起がある」か「バルブ押さえが脱落している」可能性があります。**2** 本体内部の確認に戻って、本体内部を確認してください。

3-2 新ユニットの取り付け (つづき)

④ クリック板ばねが付いていることを確認する。



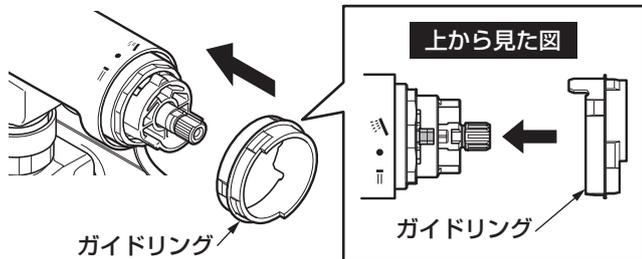
⑤ ナットを締め付ける。



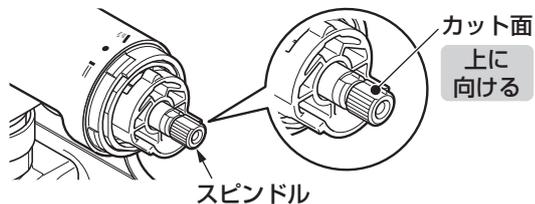
注意

- ナット挿入する時は、クリック板ばねに当たらないようにナットを挿入してください。
- クリック板ばねは外さないでください。

⑥ ガイドリングを取り付ける。

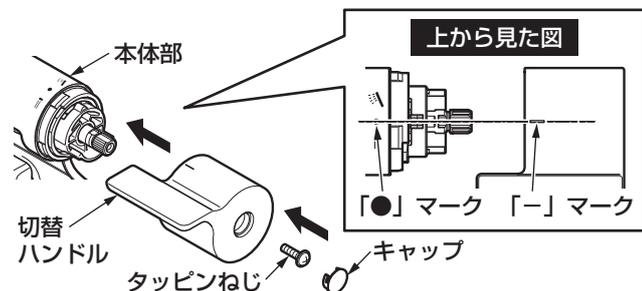


⑦ スピンドルのカット面を上に向ける。



⑧ 切替ハンドルを取り付ける。

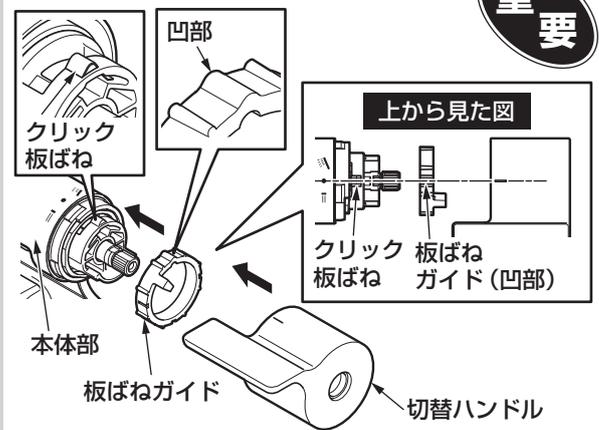
本体部の「●」と切替ハンドル部の「-」が合うように切替ハンドルをはめ込み、タッピンねじで固定してキャップを取り付けてください。



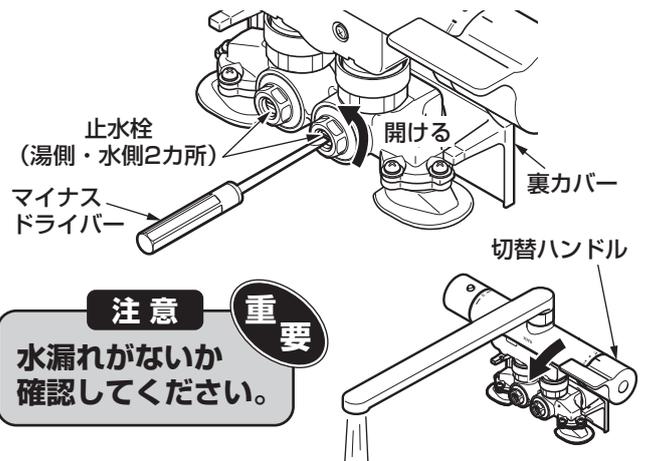
注意

切替ハンドルは、必ずクリック板ばねと板ばねガイドの凹部をあわせた位置で取り付けてください。他の位置で取り付けると、クリック板ばねが破損することがあります。

重要



⑨ 止水栓 (湯側・水側) および元栓を開け、切替ハンドルを「開」にしてスパウトから水が出るか確認する。



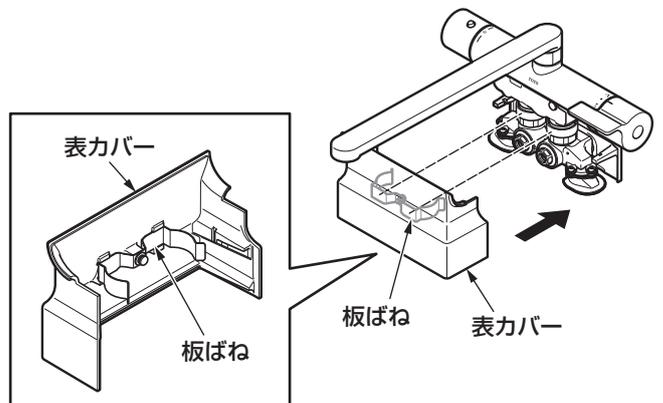
注意

重要

水漏れがないか確認してください。

⑩ 表カバーの取り付け

施工後の調節 (流量調節や温度調節ハンドルの設定など) が完了したら、表カバーを取り付けてください。



お願い

表カバーを取り付ける前に、ご利用者の適量にてご調節をお願いします。